

光化学スモッグ対策について

— 暖かくなるこれからの季節は光化学スモッグにご注意！ —

◆問合先 市役所環境政策課 ☎44-3306



教えてカッシー！ ～光化学スモッグとは～



自動車や事業所、工場などから大気中に排出される窒素酸化物と炭化水素が太陽の強い紫外線を受けると光化学反応が起き、オゾン、アルデヒドなどの二次的汚染物質が生成されるんだ。これらの二次的汚染物質が、大気中で拡散されずに滞留すると、上空が霞み、白いモヤがかかったような状態になることがあり、この状態は「光化学スモッグ」の発生と言われているよ。



事業所や工場だけでなく、僕たちが普段使う自動車の排気ガスも光化学スモッグ発生の原因になっているんだね。



光化学スモッグは具体的にいつ発生するのかな？
光化学スモッグが発生すると人体にどんな影響があるのかな？

発生時期について

光化学スモッグは、**気温が高くて、日差しが強く、風が弱い日**に発生します。特に、これらの気象条件が重なりやすい**夏の日中**は発生件数が多くなっています。一方で、紫外線の弱い冬や太陽の出ていない夜間には発生しません。

光化学スモッグによる症状

光化学スモッグが発生した際に起こりうる症状として、目がチカチカする、涙が出る、のどが痛むなどが挙げられます。このような症状が出たときは、速やかに屋内に入り、うがいや水で洗眼し、安静にしてください。症状が改善しない場合や呼吸困難などの症状が出た場合は、至急、医療機関を受診してください。



光化学スモッグによる健康被害を防ぐには

- ①屋外での運動は中止し、なるべく外出は控え、屋内に入ること
また、屋内ではなるべく窓をしめること
- ②乳幼児・高齢者・体調の悪いかたは特に注意し、室内で過ごすこと

光化学スモッグの発生状況については、奈良県の「大気環境常時監視システム」で確認することができます⇒



光化学スモッグが発生したときは、十分に注意する必要があることと、症状が出た場合は、適切な行動をとることが大事だね。



公共交通機関を利用し、自動車の使用回数を減らすことで、光化学スモッグの発生件数を減らせばいいね。